

令和5年度野洲市地域学校協働活動推進(教員の働き方改革推進)目標

課題の類型 1	課題の類型 2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成 する目標 (アウトカム)	目標の達成 度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度 に関する評価・分析 (事業における成 果、課題、改善点等)
①学校運営 上の課題	教職員の時 間外勤務の 是正	市内の教員の約 50%超が、月45 時間以上の時間 外勤務を行って おり、教員の業 務負担軽減によ る時間外勤務の 縮減が課題と なっている。	・市全体で地域学校協働活動推進員を9名 配置。年間100日以上配置し、常駐化数を 増やす。(前年度常駐化2名、今年度3名) ・市全体で地域学校協働活動推進員の 日々の業務の交流を行い、教員の負担軽 減に有効な活動や支援は何かを検討する 会議を年間6回行う。 ・教員でなくても担える業務を教育課程内 外、校内で実施し、教員の業務負担軽減を 測る。また、ボランティアの確保を行い、校 内見回り、学校施設整備、職場体験学習、 保育実習など教員の業務負担の軽減を目 指す。	学校・家庭・地 域の役割分担 の明確化によ り、地域との協 働が進み、教 員の業務負担 が軽減する。	月45時間以 上の時間外 勤務を行う教 員の割合	51	%	48	43	学校運営協議会で、 学校の課題を検討 し、「教職員の時間外 勤務が多い」ことを取 り上げ、解決方法を 検討した。その具体 的な取り組みとして、 地域学校協働活動で は、授業を協働で 行ったり、登下校の 見守りは地域で担っ てもらったりした。